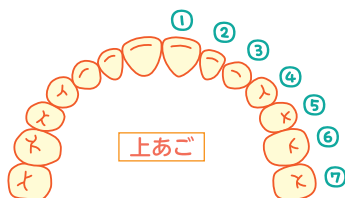


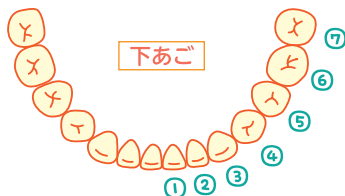
歯の生え変わりは6歳～12歳頃にかけて進んでいきますが、この時期の歯は軟らかく酸で溶けやすいため簡単にむし歯になってしまいます。

今回は歯の生え変わりの時期の注意点と対処法について紹介します。

## 生え変わる時期の目安



上あご



下あご

- ① 7～8歳
- ② 8～9歳
- ③ 11～12歳
- ④ 10～11歳
- ⑤ 10～12歳
- ⑥ (6歳臼歯) 6～7歳
- ⑦ (12歳臼歯) 12～13歳

- ⑦ (12歳臼歯) 11～13歳
- ⑥ (6歳臼歯) 6～7歳
- ⑤ 11～12歳
- ④ 10～12歳
- ③ 9～10歳
- ② 7～8歳
- ① 6～7歳

①～⑤番目の永久歯は乳歯からの生え変わりですが、

⑥⑦番目は永久歯として奥に新しく生えてきます。

※生え変わりの時期には個人差があります。

### ゆごうし 癒合歯とは?

本来1本ずつ生えてくる歯が2本くっついて生えてしまっている歯です。乳歯が癒合歯の場合抜けにくく、後に生える永久歯が1本少ないことがあります。



ママ～  
歯ぬけたよ



## 生え変わりの時期のトラブル

### 永久歯が生えてきたのに 乳歯がまだ抜けない

永久歯がずれた位置に生えてくると、乳歯がグラグラになっても抜けないことがあります。



### 永久歯が生えてこない

先天的に永久歯がなかったり、生えるスペースがなく埋もれている場合があります。

### 歯並びが気になる

子どもの歯並びは成長の過程で改善する場合もありますが、早期に矯正治療をしたほうが良い場合もあります。



どれも対処法はさまざまです。  
かかりつけの歯医者さんに  
相談しましょう。



協力／三重県歯科医師会

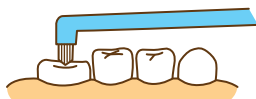
〒514-0003 津市桜橋2丁目120番地の2 ☎059-227-6488 (代)

<http://www.dental-mie.or.jp>

日本歯科医師会  
PR キャラクター よ坊さん(三重県)

### 注意点と対処法

●生え変わりの時期は乳歯と永久歯の段差により歯垢(プラーク)が残りがやすく、むし歯や歯肉炎になりやすいため、歯ブラシの当て方を工夫しましょう。ワンタフトブラシを使用するのもおすすめです。



ワンタフトブラシ



●生えたての永久歯はまだ軟らかく、むし歯になりやすいため、歯科医院でフッ化物塗布を受けたり、家庭でフッ化物入りの歯磨剤を使用しましょう。

●仕上げみがきは小学校中学年ごろまで続けてあげましょう。日頃から口の中を見ることでむし歯などの早期発見にもつながります。